

関係団体各位

### 神奈川県セーリング連盟の署名活動について

日頃から江の島ヨットハーバーをご利用いただき、また、当社の事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般、江ノ島の前ヨットハーバースターに関し、その復職とポートサービスの人事権を求める署名活動が神奈川県セーリング連盟によって行われております。この件に関し、事実関係に異なる点が多く、また、会社の組織運営に関わる重要な問題であり、神奈川県セーリング連盟には強く抗議したところがあります。神奈川県セーリング連盟の活動は、安全性を語って、会社の専管事項の人事権を侵すものであり、到底、看過できる問題ではありません。

貴団体におかれましても、正確な事実関係に基づき、ご判断いただきますよう、よろしくお願いいたします。

#### 1 前ハーバースターの異動について

桑名前顧問につきましては、長年、当ハーバーのハーバースターとして従事しましたが、既に定年を超えており、今年の4月1日に再雇用し、顧問として、社員の教育、緊急時、非常時の対応等に従事させています。顧問の職に就けることについては、本年3月11日に県セーリング連盟会長から要請されその職（顧問、4分の3非常勤）につけ、報酬等も他の社員よりも優遇しているところです。

このたび、当社では9月1日にポート部門に2名を増員し、1名（顧問の息子）を内部異動させました。この一連の人事は、ポート部門に現業を除くと正規社員が親子2名しかおらず、また、年齢構成も40歳代と50歳代の中堅社員がおらず、組織の適正なバランスを保つために行いました。前ハーバースターは残念ながら後継者を育成せず、何度も会社の規定を破るなど、長期在職の弊害も生じておりました。このため、社内のコンプライアンスを守り、組織の風通しを良くする必要がありました。

この人事異動に前ハーバースターが不満を持ち、8月末に神奈川県セーリング連盟の会長等に働きかけたものです。

#### 2 港湾の安全性

港湾の安全管理は当然、当社が行うべき重要な業務であり十分対処しているところであり、今年度に入っても、何の問題も発生していません。桑名顧問は長年の経験と知識を有しておりますが、港湾の安全管理は一人の社員だけでなる

ものではなく、組織全体で継続的に運営していくものです。

今回、9月1日付で、さらに組織的な強化を図るために、2名の経験者（前船長、海上レスキューの専門職）を増強し、他の社員についても必要な資格取得とともに実地訓練を行っており、万全の体制を整えております。

### 3 セーラーと施設の信頼関係

利用者の皆様との信頼関係は当然、重要なものです。それは、桑名個人一人との関係だけでなく、現在のハーバーを総括する管理部長やポートのスタッフ、さらには窓口のスタッフを含めてハーバー全体で醸成していくものと考えます。

### 4 オリンピックに関して

オリンピックに関しての業務については、現在、県からはどこが行うのか、指定管理者は何を行うのか、まだ明確にされておりません。

オリンピック開催に向けて、当社としても当然、しっかり取り組んでいきたいと考えております。そのため、当社はその体制を安定的、かつ永続的にするために、中堅社員を採用し、人数を増員し、訓練を重ねるなどそれに備えているところです。4年後のオリンピックに向けて、前の体制でいるとほとんどの社員が60歳後半となり、組織的な責任ある対応を図ることが難しくなります。今の時期こそ、先に備えて組織体制の整備、強化が必要と考えているところです。

また、当社では利用者の皆様とともに、広く県民市民にヨット競技を広め、ヨットハーバーに親しんでいただけるような取組を行っています。今年の夏には、藤沢市内の子供たちを対象に「やまゆりとヨット体験教室」を開催し、市民など60名のフラワーボランティアでハーバー内を花で飾るなどの事業を展開しています。

今後とも、利用者の皆様と、地域が一体になって、2020東京オリンピックを迎えたいと思っています。

平成28年9月12日

株式会社湘南なぎさパーク  
代表取締役社長

野沢

